

渋沢社史データベースを使ってみよう！

2020年の東京オリンピックまであと2年。様々な会社が協賛しているけど、1964年の東京オリンピックではどんな取り組みをしていたのかな？

社史を調べてみたらどうでしょう？
渋沢社史データベースで「東京オリンピック」や「東京五輪」など関係のあるようなキーワードを入力して検索してみましょう！

Point!

検索するキーワードによって得られる結果が変わってきます。思ったような検索結果が得られない場合は、類似語や言葉の組み合わせを変えて再検索してみましょう！

QRコードはこちら。
スマホ、タブレットでもアクセスできます！



データベースを使ってみて、様々な会社が自分の得意分野でオリンピックに参加していることがわかったよ。「東京オリンピック」だけでも多くの社史でページを割いているね。※1

1964年の東京オリンピックでの会社や団体の取り組みをまとめて表にしてみたよ。※2

会社名(五十音順)	社史タイトル	取り組み内容
日生命保険(相)	『朝日生命百年史 下巻』(1990.03)	当社幹事による「東京オリンピック参加選手団体制定期取扱」に共同引受
オーベックス(株)	『オーベックス100年史』(1993.03)	東京オリンピック日本チーム選手、役員公式グッズメーカーとして帽子を納入
共同通信社	『共同通信社60年史 : 1995-2005』(2007.04)	(有)開発局、電通とタッグアップ、加盟店17社による「東京オリンピック特集記事配信」、「東京オリンピッククラブ」(タッグアップ企画、「11月」)が作成発行
(株)熊谷組	『熊谷組社史』(1968.09)	オリンピック東京大会組織委員会の相模湖カヌー競技分科委員会および設営工事
(株)後楽園スタジアム	『後楽園スタジアム50年史』(1990.04)	第18回東京オリンピックのボクシング会場となる(「東京オリンピックアリバレス」)
(株)資生堂	『資生堂富伝史』(1979.07)	東京オリンピック大会に協賛して製品寄贈
清水建設(株)	『清水建設百二十年史』(1973.04)	清水建設百二十年史
全日本空輸(株)	『空への挑戦 : ANA50年の航跡』(2004.05)	YSL1で東京オリンピック聖火を輸送
(株)第一ホテル	『夢を託して : 第一ホテル史』(1992.03)	東京オリンピック選手村食堂運営を担当。新館全館を世界各国の宿舎・食堂・事務所に提供(「第一ホテル」)
東京瓦斯(株)	『東京ガス百年史』(1986.03)	駒沢公園内火台に当社のガス点火
(特)東京商工会議所	『東京商工会議所百年史』(1979.12)	オリンピック東京大會開催に伴い、外国人観光客向に「東商」のフォンメーションセンターを開設
トヨタ自動車(株)	『世界への歩み : トヨタ自販30年史・資料編』(1980.12)	東京オリンピックに協賛車として聖火リレー選手輸送などに「トヨタエント」など10台のトヨタ車を無償貸与する
日産自動車(株)	『21世紀への道 : 日産自 東京オリンピック用セドリックスピシャ 動車50年史』(1983.12)	車50年史(1983.12) ルノード193号提供
日本アイ・ビー・エム	『日本アイ・ビー・エム50年史』(1988.10)	東京オリンピック226名の社員、IBM1410、1440、AI50が競技結果速報作成に活躍
日本銀行	『日本銀行百年史 : 資料編』(1986.09)	東京オリンピック東京大会記念100円銀貨、1000円銀貨の第1回公募配布
日本航空(株)	『日本航空100年史』(1974.02)	アルスター那覇開港特別に行東京オリンピック聖火飛送
(株)日本交通公社	『日本交通公社70年史』(1982.03)	オリンピック東京大会入場券販売代理店として、入場券の国内販売
日本国有鉄道	『日本国有鉄道百年史 : 表』(1997.12)	オリンピック期間中は所澤、渋谷、高崎町、千駄ヶ谷各駅を中心に毎日3695回の臨時車両で約300人の職員を勤員してC20万人の観客を輸送で送込
日本石油(株)	『日本石油百年史』(1988.05)	中央技術研究所、東京オリンピック開け聖火灯油を生産・輸入(日石瓦斯LPガスを納入)
日本通運(株)	『陸と海と空 : 日本通運創業15年 創立50年の歩み』(1987.10)	東京オリンピック開幕・公認運送取扱人として輸送も送込
日本無線(株)	『日本無線55年の歩み : JRCL』(1971.06)	第18回オリンピック東京大会主競技場並びに水泳場にトーンソニ方式の監声装置設置
(株)日立製作所	『日立製作所 - 3』(1971.01)	東京オリンピックに電光掲示板を寄贈
松下通信工業(株)	『松下通信20年のあゆみ』(1978.01)	駒沢陸上競技場、駒沢球場、馬事公苑、日本武道館、後楽園アリーナなどに、東京オリンピックの音響設備納入
三菱電機(株)	『三菱電機社史』(1982.03)	東京オリンピックの施設明細設備納入

※1 「東京オリンピック」で「ド検索」を行った場合、次回引で39冊、年表で302冊、資料編で18冊に記載があることがわかります。(2016年1月現在)

※2 「東京オリンピック」「オリンピック東京」「東京五輪」「五輪東京」の4種類のキーワードで検索した場合にヒットした項目の中で、当社での取り組みとして掲載されているものから抜粋したものです。

Practice!

「年表項目を検索」してみよう

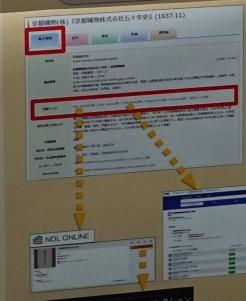


業種別件数ではサービス業や銀行業で記載が多いです。また検索結果では、1964年の東京オリンピックのほか1940年に予定されながら、戦争の影響で中止となった幻の東京オリンピックについても複数の社史で記載があることがわかります。

Question

実際の社史を読むには

- 社史の本文を読むにはどうしたらいいの？
- 実物を見たい場合は、「基本情報」タブの「所蔵リンク」欄に記載されているリンク先をクリックすると、社史の所蔵機関を調べられます。
 - 「所蔵リンク」には、国立国会図書館のNDL ONLINEや大学図書館等での所蔵を確認できるCINI Booksなどがあります。NDL ONLINEではデジタルコレクションで本文を公開している場合もあります。



- 会社や業界の研究にも使えそう。自分の誕生日に起きた出来事を調べてみるのももしろいね！
- 渋沢社史データベースは、定期的に情報を追加しています。様々な調べもので活用できることぜひ使ってみてください。
- 掲載情報に関するお問い合わせ、ご質問や新たな情報のご提供をお待ちしております！

9

公益財團法人
渋沢栄一記念財団
Shibusawa Eiichi Memorial Foundation

情報資源センター
Information Resources Center

渋沢栄一記念財団

情報資源センターは、

渋沢栄一と実業に関する情報資源を収集・蓄積・開発し、インターネットを通じて提供。渋沢栄一の精神を現代に活かすための活動や研究支援を行っています。

渋沢栄一(1840-1931)は、約500の企業、約6000の社会公共事業に携わった実業家、社会事業家です。近代資本主義社会の基盤づくりを行うとともに、論語に範をとった「道徳経済・試」を説きました。

渋沢栄一記念財団は、1886(明治19)年に結成された渋沢栄一書生らの勉強会にはじまり、栄一が主張した実践した経済道義を高揚することを目的とする公益財團法人です。

渋沢社史データベースは、

渋沢栄一が関係した会社を中心とし、その歴史をまとめた出版物である「社史」の内容を、目次・索引・年表・資料編といったデータから検索することができる無料で使える検索アシストツールです。2018年現在、1,576冊の社史の情報を収録しています。

社史には、

会社の創業の歴史だけでなく、その業界の歴史や創業地域の産業状況、社会背景などを記載しており、社史を通して、近代日本における経済社会の発展をつなぐ人々や企業の事業者、経済発展が社会の変化や日常生活に与えた影響を、具体的な出来事に即して知ることができます。

画像提供：渋沢史料館

公益財團法人渋沢栄一記念財團
〒114-0024 東京都北区西1丁目2-16
TEL:03-3910-0029 FAX:03-3910-0085
E-mail: center_info@shibusawa.or.jp

スタッフ在席時間

在席時間内は、スタッフ直通ご連絡いたします。
どうぞ気軽にお声掛けください。

10月30日(火)	11:30～13:00	14:00～18:00	
10月31日(水)	10:00～13:00	14:00～15:20	17:00～18:00
11月 1日(木)	11:30～15:30	17:00～18:00	

本展示の資料です。
ご自由にお持ちください。

